

令和3年12月26日

場所：大竹市地域福祉会館（おがたピア）にて

大竹市D I G研修

(災害図上訓練)

- 広島県自主防災アドバイザー
- 広島県危機管理監消防保安課

DIGとは何か

・DIG(ディグ)は、

災害(Disaster)の **D**

想像力(Imagination)の **I**

ゲーム(Game)の **G**

・digは英語で「掘る」

→ 転じて「探求する」「理解する」

→「まちを探求する」「災害を理解する」



「防災意識を掘り起こす」

本日のD I G訓練の流れ

進行の説明



地図への書き込み

避難先



グループ討議



発表



講評

それでは、やってみましょう！



グループメンバーの紹介

- ①机上のA4用紙に自分の名前と自治会の所属、防災上で気になっていること、自分の趣味・最近のニュースなどを書いてください
- ②グループ内で発表してください。（一人2分以内）

- ① 机上の地図をビニールシートと固定します。
その後、机に固定してください。

A 3 地図に記入します

- (1) あなたの家の位置へ「白色カラーラベル」を張り付けましょう（ラベル上に名前を記入）

地図上のものにフリクションペンで縁取りしましょう

紫色 ; 川、溪流、下水道、ため池

黄色 ; 主要道路（県道・市道など。アンダーパスは点線で）

緑色 ; 避難場所、公園、学校、神社、広場、ヘリポート適地

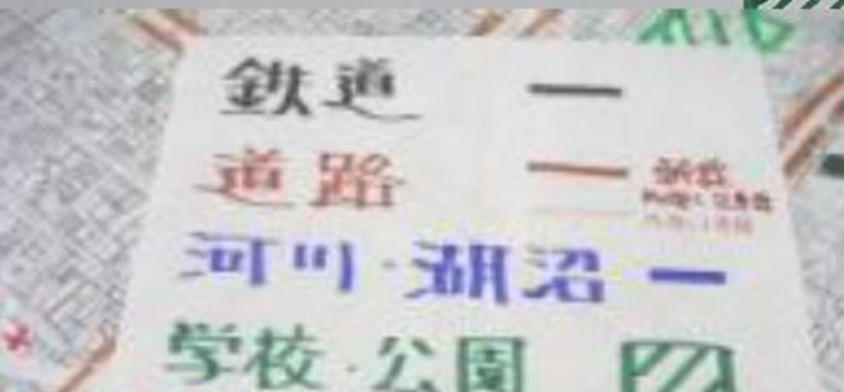
ピンク : 過去に土砂災害が発生した地域

青色 : 過去に浸水した場所

川・池



公園・学校



防災拠点にカラーシールを貼りましょう

◎；災害時役立つ施設

公共施設・病院・消防団車庫・ホームセンター・食品スーパー・防災倉庫、コンビニ、食品スーパー、公衆トイレ、公衆電話、AED設置場所、防災機材のある店・・・

◎；安全な場所（広い駐車場、公園、丈夫な高い建物、広場、公園等）

◎；危険な場所

過去の災害場所・冠水する道路や溢れる下水・空家や危険なブロック塀、避難時危険な踏切や主要道路の横断

これまで作業した内容を見つめながら
感じた内容を大型の付箋紙に書きましょう

(1)地域の強み - 黄色付箋

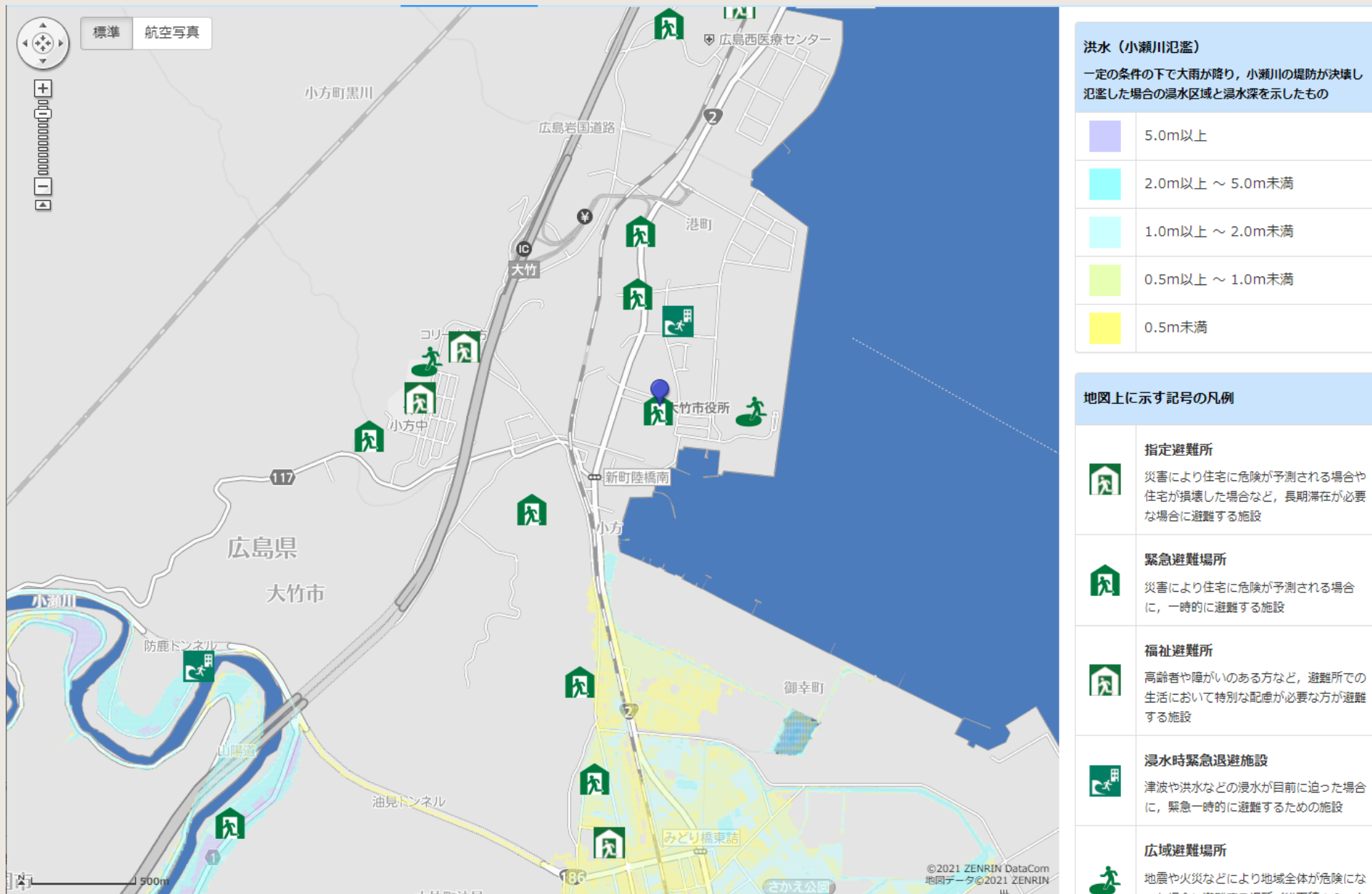
(2)地域の弱み - 青色付箋

危険な道、地下店舗、危険な看板、空き家、側溝・・・

(3)その他のメモ - ピンク色付箋

今 作業している上に、もう1枚ビニールシートを
重ねてテープで止めます

ハザードマップで地域の災害被害想定、避難場所等を確認しました

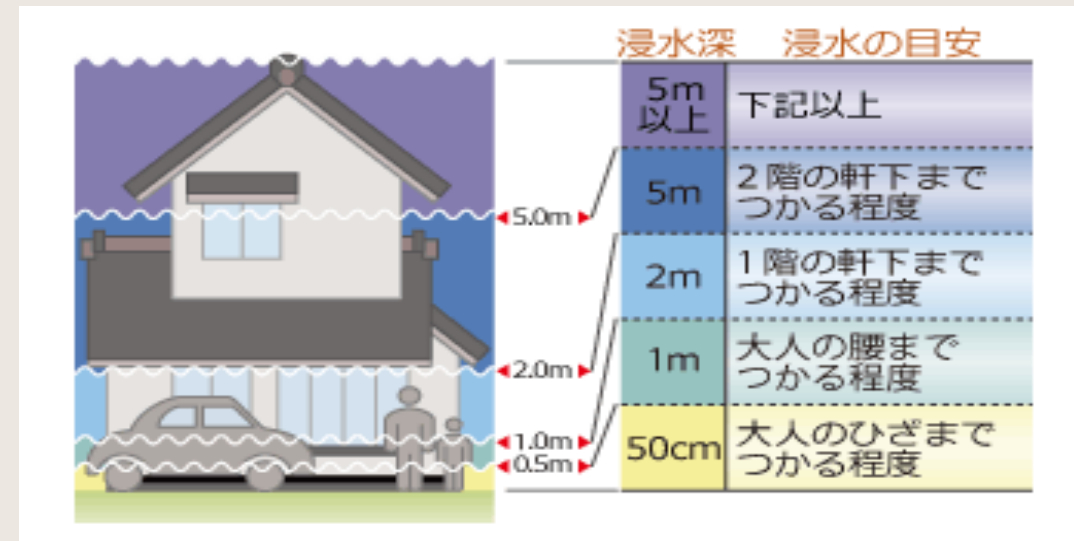


ハザードマップを記入しましょう

- 土砂災害警戒区域、特別警戒危域
 - 特別警戒区域 = 赤色の線で囲む
 - 警戒区域 = 黄色の線で囲む
- - 青色で囲む

洪水想定区域又は過去に浸水した区域を記入します

- 浸水5m以上の区域
- 浸水5mの区域
- 浸水2mの区域
- 浸水1mの区域
- 浸水50cmの区域



防災情報を取得するところがあれば、記入してください。

1 防災行政無線

防災情報や避難情報などを屋外に設置したスピーカーや戸別受信機などを通してお知らせします。

2 エリアメール・緊急速報メール

洪水、土砂災害警戒情報等、避難が必要となる緊急情報を一斉に携帯電話やスマートフォンに配信します。

3 広島県防災情報メール配信サービス

県内の気象情報や避難勧告、避難所開設情報、台風や雨量、ダム放流情報などの情報を、携帯電話などに電子メールでお知らせします。

登録用メールアドレス bousaimailmaster@bousai-mail.pref.hiroshima.lg.jp

4 地上デジタル放送

地上デジタル放送のデータ放送により、NHKにて避難情報や土砂災害警戒情報、水位情報などが確認できます。



避難場所までの経路を記入しましょう。

(赤色マジックで道路を塗る)

避難場所 = 津波や洪水など、その場にとどまっていると命を落とすかもしれない災害から身を守るために逃げ込む場所。

避難所 = 命を守ったあとに、一時的に生活をする場所。

※ 避難場所と避難所は異なる場所が指定されている場合があれば、同一の施設が指定されている場合もあります。

①A4用紙に記入し、自分の意見をまとめましょう

グループで話し合ってください。（ 分間）

ア、私たちの住む町は、自然災害から命を守るためにどのように対応すればいいのでしょうか？

イ、現状の自治会活動をどのように変えていけばいいか？

ウ、地域自治会としてどのように取り組めばいいのでしょうか？

グループで出た意見を発表します



講 評

(広島県自主防災アドバイザー 柳迫)



DIGの基本は、

地図を使い、まちの特性を知り、
起こりうる災害をイメージし、その対応を考えるもの。
地図とハザードマップを使ったイメージ訓練は
すべて広義のDIG。

DIGはさまざまな応用が可能

地域特性を考え、工夫をこらしてやってください

おしまい

